

中国抗日・世界反ファシズム戦争勝利80周年 軍事パレード



2025. 9. 26

国家基本問題研究所 研究員 中川真紀

※ 本書の無断転載、複写、複製を禁じます。

衛星画像は著作権の関係上Maxar社の画像使用は別途申請が必要、またMGPProの画像は申請不可・転載禁止です。

目 次

- 1 軍事パレードとは
- 2 抗日80周年軍事パレード
 - (1) 外交上の注目点
 - (2) 軍事上の注目点
- 3 まとめ

中国の軍事パレードとは

概要

- 閱兵式：検閲官が整列した受閲部隊の前を通過し、部隊の威容を検閲すること
- 分列式：部隊が検閲官の前を行進する、所謂「軍事パレード」

特徴

- パレード先頭は旗衛隊、**共産党旗→国旗→隊旗**の順で行進
検閲官：中共中央総書記・国家主席・中央軍委主席 習近平
- 指揮官は**司令官と政治委員が並列**（現職とは限らず）

旗衛隊



（出典：解放軍報20250904）

軍事宇宙部隊の隊旗と指揮官 2 名



（出典：解放軍報20250904）

国威発揚と共に、人民解放軍は「**党の軍隊**」であり、党が統制する事を部隊に徹底し、国民に周知させる重要な儀式

軍事パレードの歴史

	年	記念日	検閲官	備考
1	1949	建国式典（国慶節10/1）	朱徳総司令官	
2～11	1950～1959	建国1～9周年	朱徳総司令 →彭徳懐国防部長 →林彪国防部長	
12	1984	建国35周年	鄧小平中央軍委主席	
13	1999	建国50周年	江沢民中共中央総書記・ 国家主席・中央軍委主席	
14	2009	建国60周年	胡錦濤中共中央総書記・ 国家主席・中央軍委主席	
15	2015	抗日・世界反ファシズム 戦争勝利70周年	習近平中共中央総書記・ 国家主席・中央軍委主席	9/3
16	2017	人民解放軍建軍90周年	同上	7/30 朱日和訓練基地
17	2019	建国70周年	同上	
18	2025	抗日・世界反ファシズム 戦争勝利80周年	同上	9/3

習近平は、初の国慶節以外の軍事パレードを開催

- 党・軍における権力掌握を誇示し、**軍改革に必要な求心力**を維持
- 抗日・反ファシズム勝利を諸外国と祝賀、勝利したのは国民党ではなく共産党だと、その**正統性をアピール**、**国際社会への影響力強化**にも利用

外国要人の出席

	70周年	80周年（前回比）
首脳級	24	26（新規×13、未派遣×11）
議長・副首相級	6	6
政府高官級	20	7（欧米・豪・印等未派遣×14）



（出典：新華社20250904）

前回より出席者ランクが上昇した主な国

赤字：首脳級参加国

○ 北朝鮮

⇒ 米朝及び米露首脳会談を見据え、北朝鮮・露への影響力を誇示し米を牽制

○ ASEAN加盟国：インドネシア・マレーシア・シンガポール・ブルネイ

⇒ 米国との関係を強化するフィリピンをASEAN内で孤立化させることを企図

○ 南アジア諸国：モルディブ・ネパール・バングラデシュ

⇒ モルディブ大統領・ネパール首相は就任後、印より先に訪中。バングラでは2024年親印政権が崩壊する中、中国の印周辺国への影響力強化を印に誇示

○ SCO首脳会議（8/31～9/1天津）参加国

◇ メンバー国：イラン

◇ 対話国：アゼルバイジャン・アルメニア・モルディブ・ネパール・トルコ

◇ 主催国（中国）ゲスト：トルクメニスタン・マレーシア・インドネシア

⇒ SCOを対米グローバルサウス結束の場とすると共に、パレード参加の呼び水

各国の参加を促し、狙いを絞った外交戦略を展開。欧米主導の国際秩序に挑戦

80周年軍事パレードの概要

参加部隊

区分	数	特 徴
徒歩梯隊	1 3	新設された新領域関連3コ部隊参加
戦旗梯隊	1	抗日戦争英雄模範部隊の名誉旗
装備梯隊	2 2	新領域や対米作戦用の梯隊増加
空中梯隊	8	カパルト式空母艦載機が登場

戦旗梯隊



○ 参加装備は中国軍の**システム作戦能力・新領域戦力・戦略威嚇の実力**を重視

(国防部報道官20250910)

部隊指揮官

過去：
戦区司令官
↓
今回：
戦区**空軍**司令官



注：北部軍区は2016年に中部戦区に改編

過去のパレード	部隊指揮官
抗日・世界反ファシズム勝利70周年	北部軍区司令官
人民解放軍建軍90周年	中部戦区司令官
建国70周年	中部戦区司令官

○ **新領域**分野の強化や米国を仮想敵とした戦力整備をアピールし**戦略威嚇**

○ 部隊指揮官は、北京を担当する戦区司令官が担任するのが慣例も、登場せず。
軍内の高官に対する**反腐敗摘発が継続**

軍事パレード：陸上装備品

新領域戦力・無人関連装備・戦略威嚇ミサイルを以下紹介

資料源：CCTV放映の映像・解説等から筆者が分類して纏めたもの

梯隊区分	装備品
地上突撃	99B式戦車
	100式戦車
	100式支援戦闘車
水陸両用突撃	水陸両用装輪装甲突撃車
	水陸両用装輪装甲歩兵戦闘車
	水陸両用装輪装甲自走榴弾砲
空挺突撃	装軌装甲空挺多目的輸送車
	装軌装甲空挺戦闘車
	装軌装甲空挺自走榴弾砲
長距離ロケット砲	長距離ロケット砲多連装型
	長距離ロケット砲2連装型
艦載防空武器	HHQ-9C / 長距離
	HQ-16C / 中距離
	HQ-10A / 近距離
	艦載レーザー兵器
対艦ミサイル	YJ-15 / 空中発射
	YJ-19 / 潜水艦発射
	YJ-17 / 艦艇発射
	YJ-20 / 艦艇発射
水中兵器	軽魚雷
	ロケット補助推進式魚雷
	重魚雷
	スマート特殊機雷
早期警戒	高機動早期警戒レーダー (4種類)

防空 ミサイル	HQ-11 / 近距離
	HQ-20 / 中距離
	HQ-22A / 中長距離
	HQ-9C / 長距離
	HQ-19 / 対弾道弾
	HQ-29 / 対弾道弾
対無人機	猛士搭載レーザー防空兵器
	625式装輪自走対空機関砲
	コンプレックス防空システム
	トラック搭載レーザー防空兵器
サイバー 空間作戦	高出力マイクロ波防空兵器
	車載式サイバー戦装備 (4種類)
電子対抗	車載式電子戦装備 (5種類)
情報支援	戦場ネットクラウド車
	デジタルインテリジェンス車
	宇宙地上ネットワーク車
陸上 無人作戦	情報融合車
	無人偵察攻撃装軌突撃車
	無人偵察攻撃装輪突撃車
	無人地雷処理車
海上 無人作戦	無人分隊支援車・ロボット犬
	無人潜水艇
	無人艇
	無人機雷敷設システム

空中 無人作戦	ステルス偵察攻撃無人機
	偵察攻撃無人機
	随伴ステルス無人機 (2種類)
	制空ステルス無人機 (2種類)
	艦載無人ヘリ
後勤保障	野戦救急車
	野戦病院システム
	給油車
	温食提供炊事システム
装備保障	応急修理車
	装輪式装備回収整備車
	分解整備車
	電気機械検査整備車
巡航 ミサイル	CJ-20A / 空中発射
	YJ-18C / 艦対地
	長剣-1000 / 地上発射
極超音速 ミサイル	YJ-21 / 空中発射
	DF-17 / MRBM
	DF-26D / IRBM
核ミサイル 第1	JL (驚雷) -1 / ALBM
	JL (巨浪) -3 / SLBM
	DF-61 / 車載型ICBM
	DF-31BJ / サイロ型ICBM
核ミサイル第2	DF-5C/液体燃料サイロ型ICBM

軍事パレード：空中装備品

資料源：CCTV放映の映像・解説等から筆者が分類して纏めたもの

梯隊区分	装備品
早期警戒指揮	KJ-500A早期警戒機
	KJ-600早期警戒機 / 固定翼艦載型
	J-16、J-15T
特殊作戦機	Y-9対潜哨戒機
	Y-9電子偵察機
	Y-9レーダージャミング機
輸送機	Y-20A
	Y-20B
爆撃機	H-6N / 空中給油型
	H-6K
	H-6J
空中給油	YU-20A
	H-6N、J-16、J-20
戦闘機	J-16D / 電子戦戦闘機
	J-20 / 重型ステルス戦闘機
	J-20A / 重型ステルス戦闘機改
	J-20S / 重型ステルス戦闘機複座・無人機統制
	J-35A / 中型ステルス戦闘機
艦載機	J-15DH / スキージャンプ式電子戦戦闘機
	J-15DT / カタパルト式電子戦闘機
	J-35 / 艦載ステルス戦闘機
	J-15T / カタパルト式戦闘機
練習機	教-10
	J-10S
	J-10C

KJ-600艦載固定翼早期警戒機
空母が第1列島線以東で行動可能

J-35、J-15Tと共に発着艦訓練に成功の報道（9/22）



（出典：央視新聞20250905）

J-20S

複座ステルス戦闘機で、後部座席の人員が
無人機をシステムとして運用



（出典：央視新聞20250903） 8

情報支援梯隊

戦場ネットクラウド車



デジタルインテリジェンス車



宇宙地上ネットワーク車



情報融合車



地上、衛星、サイバー空間等で収集したあらゆる情報を融合・評価し、**全部隊が瞬時に同じ情報を共有**できる装備の可能性、**システム作戦能力**をアピール

サイバー空間作戦梯隊



指揮統制・探知・サイバー防御等を
一体となって実施するシステム

電子対抗梯隊



(出典全て：解放軍報20250904)

全周波数帯域に対応し、宇宙空間も含めた防衛的電子戦を実施。一部は行進を担任した陸軍にも既配備

陸上無人作戦梯队



- 少子化に対応し、**最前線部隊の人的被害**を局限
- 類似の装備を訓練報道で既に確認。台湾侵攻を任務とする東部戦区第71集團軍が行進を担当しており、**最前線の部隊に装備しているとアピール**

海上無人作戦梯隊

無人潜水艇



(出典：央視網20250903)

無人艇

・情報収集・偵察監視・遠方での攻撃等に使用



(出典：央視網20250903)

無人機雷敷設システム



(出典：央視網20250903)

- 有人艇よりも小型・ステルス性を保持できる船体設計
- 大量使用により、**遠距離・広範囲**の海域で隠密裏に情報収集・機雷設置・破壊活動等を実施

空中無人作戦梯隊

随伴無人機×2種

- ・有人機に随伴し、偵察・電子戦・BDA・SEAD等実施



(出典：軍武零距离20250904)

制空無人機×2種類

- ・ステルス性・高機動性、空対空ミサイルで対空戦闘



(出典：央視網20250903)

艦載無人ヘリ

- ・警戒監視・対艦対潜・救難等多様な任務実施



(出典：央視網20250903)

- 無人機単体の運用だけでなく、複数の無人機及び有人・無人機が融合したシステムとしての運用を想定した装備
- 艦艇からの無人機飛行は既に報道されているが、機種が逐次大型・多様化

対無人機梯隊

猛士搭載レーザー防空システム
(OW5-A10 : 10キロワットでUAVを攻撃)



(出典 : 央視網20250904)

近距離コンプレックス防空システム
(FK-3000 : 機関砲とミサイルを装備)



(出典 : 央視網20250903)

トラック搭載レーザー防空システム
(OW5-A50 : 50キロワットでUAVを攻撃)



(出典 : 新華社20250904)

高出力マイクロ波防空システム
(Hurricane-3000 : 3km先のUAVを無効化)



(出典 : 新華社20250904)

第一線～後方までそれぞれのレベルで対応する対無人機装備を配備

地上突撃梯隊：100式戦車（防御機能）

（出典全て：軍武零距离20250904）

- ・ 被弾率の高い砲塔は無人砲塔



- ・ 多くのセンサーを搭載し、戦場の状況を把握



- ・ 砲塔に装備されたレーダーで砲弾を察知、迎撃弾発射



迎撃試験の状況



無人機やスマート弾等からの防御機能向上

地上突撃機梯隊：100式支援戦闘車（無人装備）

- ・戦闘車後方に無人機を搭載
- ・無人装備専用ハッチが搭乗



（出典：軍武零距离20250904）



（出典：央視網20250903）

100式戦車・100式支援戦闘車乗員のスマートヘルメット
・360度の視界を有し、全戦闘データ等を投影



（出典：央視新聞20250906）

- 第1線で**無人装備**を総合運用する**随伴支援**という新たな作戦概念を体现した装備
- 有人・無人装備が一体となった作戦を追求

巡航ミサイル梯隊

CJ-20A 空中発射巡航ミサイル

- ・ 堅固な地下施設等高価値目標への攻撃に使用



(出典：軍武零距离20250904)

YJ-18C 艦対地巡航ミサイル

- ・ 菱形の形状によりステルス性向上



(出典：軍武零距离20250904)

CJ-1000 地上発射巡航ミサイル

- ・ CJ-100 (射程3000-4000km) を基に開発した極超音速巡航ミサイル



(出典：新華社20250904)

- 低空での自律飛行に加え、ステルス性や極超音速により迎撃をより困難化
- 日米のBMDを多種多様な巡航ミサイルで突破し、第1列島線内に存在する在日米軍等の活動を妨害する「領域拒否 (AD)」やグアム基地を攻撃できると戦略威嚇

極超音速ミサイル梯隊

YJ-21空中発射極超音速対艦弾道ミサイル

- ・ H-6K（行動半径3500km）に搭載、訓練を実施



(出典：軍武零距离20250904)

DF-17 極超音速滑空体搭載準中距離弾道ミサイル



(出典：軍武零距离20250904)

DF-26D極超音速中距離弾道ミサイル

- ・ DF-26は核・対艦・対地弾道搭載可能



(出典：央视网20250903)

- マッハ5以上の極超音速により迎撃困難化
- DF-17は第1列島線を、DF-26Dは第2列島線を射程におさめ、加えて空中発射のYJ-21により、グアム方向から台湾に來援する米軍の「接近阻止 (A2)」が可能と戦略威嚇

核ミサイル梯隊

JL-1（驚雷-3）空中発射弾道ミサイル



（出典：新華社20250904）

JL-3（巨浪-3）潜水艦発射弾道ミサイル
・南シナ海から米本土が射程圏内



（出典：新華社20250904）

DF-31BJ固体燃料サイロ式大陸間弾道ミサイル
・LOW（警報即発射）を可能に



（出典：央視網20250903）

DF-5C液体燃料サイロ式大陸間弾道ミサイル
・地球全地域が射程圏内



（出典：新華社20250904）

- 米国に対する核の**三本柱（トライアド）**が**完成とアピール**し、戦略威嚇
- DF-31BJが現在約320基確認されているICBMサイロ全てに配備されれば、**核戦力は大幅に増強**、「相互確証破壊」戦略移行も可能（SIPRI2025：DF-31サイロ型核弾頭数30）

パレード重視装備と台湾侵攻作戦

トライドで米
本土核抑止



無人装備を多
用した着上陸



巡航・極超
音速ミサイル、
空母でA2/AD



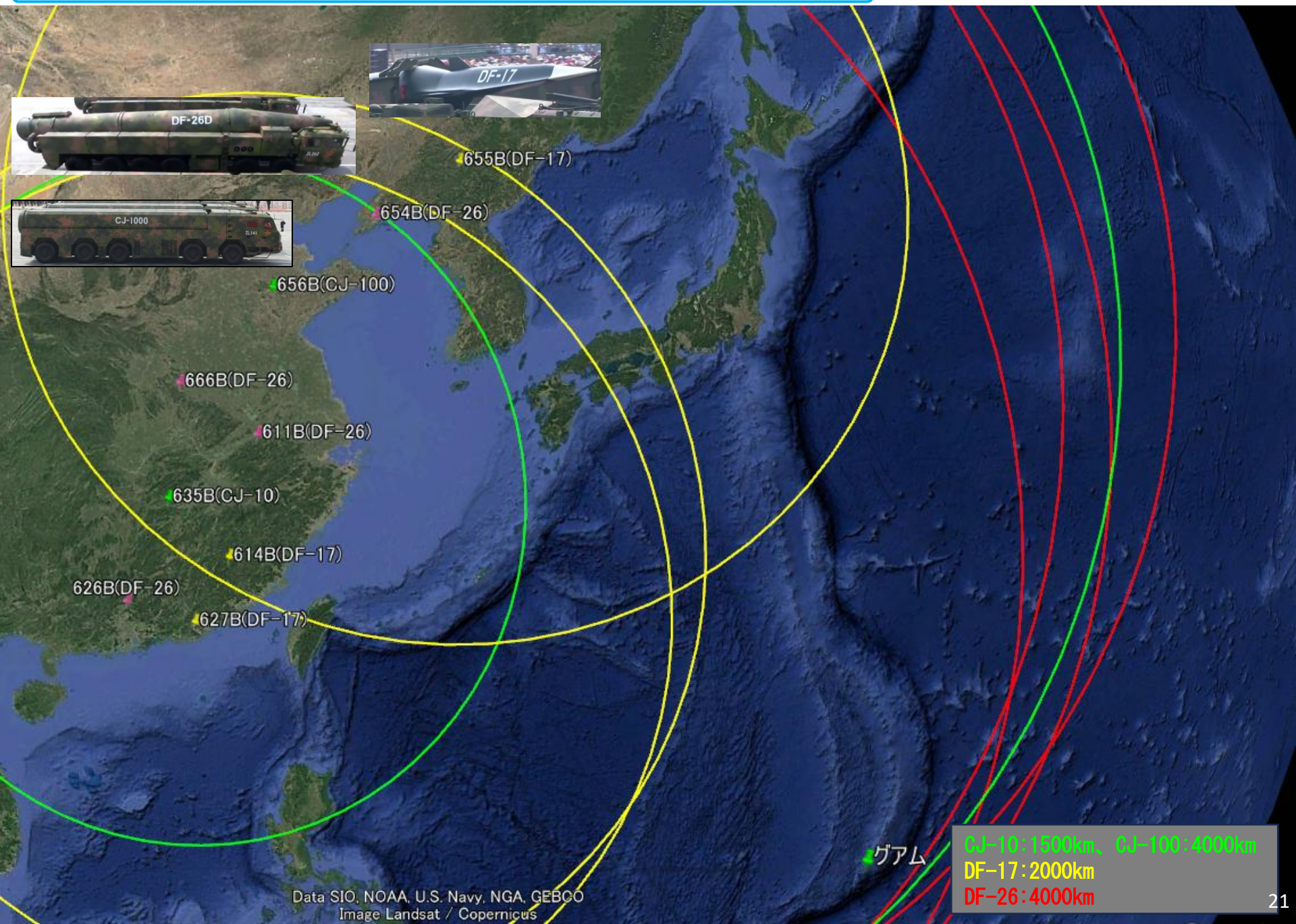
第1列島線

第2列島線

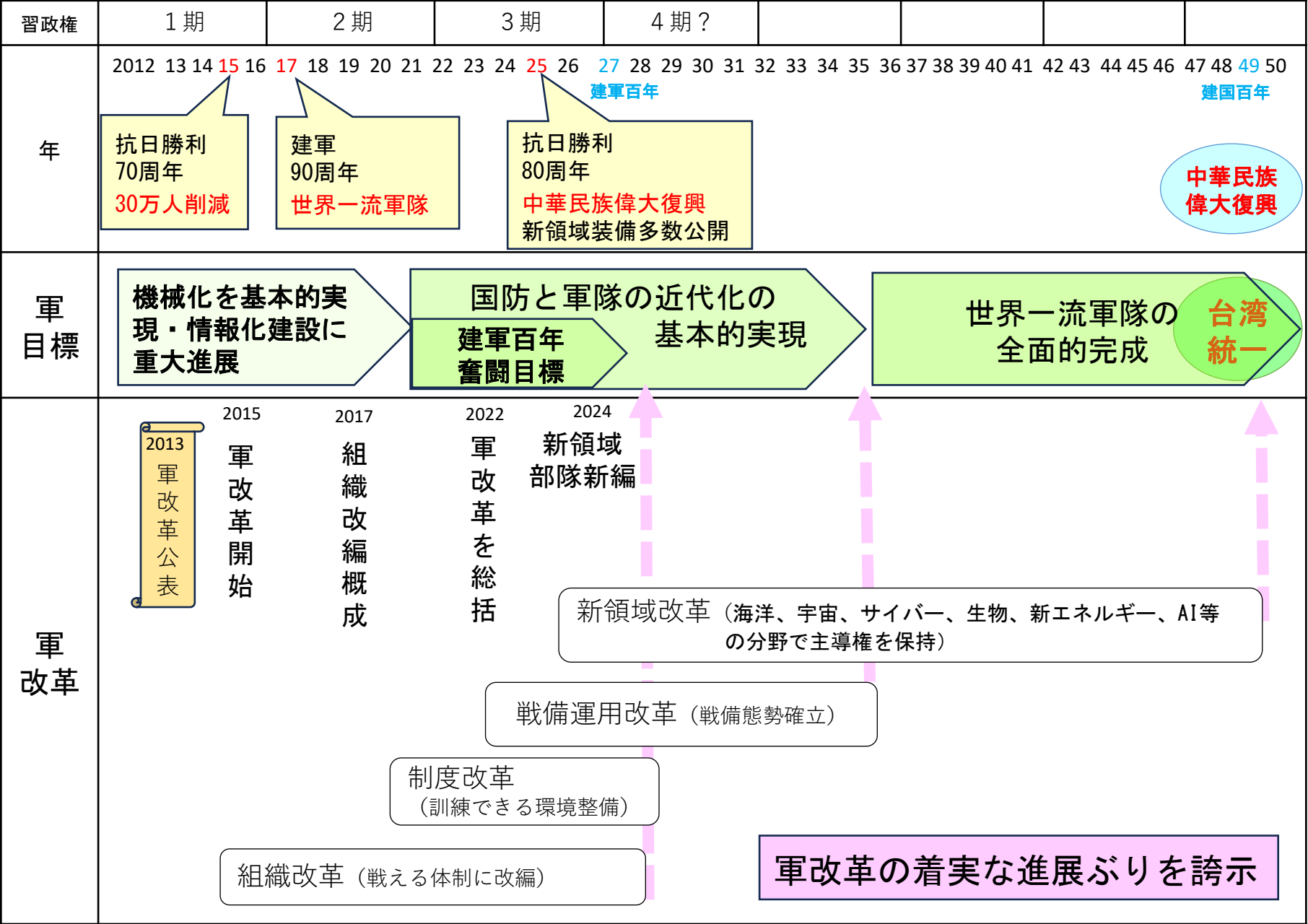


サイバー・電子対
抗・情報支援装備
により宇宙・地上
一体で作戦を支援

パレード登場巡航・極超音速ミサイル配備の可能性のある基地



中国軍の軍改革とパレード



まとめ

- 全般
多種多様な新領域・戦略威嚇関連装備を公開、**軍改革の進展ぶりをアピール**
- 中国の企図
 - ◇ 対国内
「世界一流」の装備により国威発揚、**共産党の正統性**を喧伝
 - ◇ 対軍内
陸軍主体の旧体制を一掃し、**システム作戦・新領域戦力への転換**を徹底
 - ◇ 対米国
トライアド、A2/AD能力向上に資する兵器により台湾有事への介入を強く牽制
 - ◇ 対台湾
米軍来援を必ず阻止するという決意を示し、**独立勢力を威圧**
- 注目点
 - ◇ パレードはアピールの要素が強く、登場した兵器が現時点で**全面的に配備されているというわけではないため、今後の配備・運用状況等**に注目
 - ◇ 日本にとっては今後の状況を把握しつつ、更に中国に対する抑止力を高めるため、**戦略3文書の早期見直し・具現化**が必要